

## 株式会社 石丸商事（愛媛県松山市）

【業務用資材の卸業、ギフトの店舗販売・卸業】

商工会議所のイチオシ

正社員の雇用を積極的に進める石丸さんの取組をご紹介します



LEADER

代表取締役 石丸 一臣 氏

愛媛県松山市で、飲食店やホテルへの業務用資材の卸業、ギフトの店舗販売・卸業を展開する株式会社石丸商事。  
代表取締役の石丸さんは、会社の未来を担う正社員の雇用・育成に積極的に取組んでいる。女性正社員やパートタイム社員の活躍に重点を置く石丸さんの思いをご紹介します。

## 正社員の雇用が会社の発展を担う！ 社内の人員体制を見直し、女性社員を採用

### ■背景・きっかけ:

ギフトの店舗販売を行う当社では、従来より多くの女性を雇用し、活躍いただいていたが、ほとんどがパートタイム社員であり、ローテーションで業務を回す体制としていたため、ミーティングをするにも時間を調整するのが困難で、責任の伴う重要な業務を任せにくいという状況が続いていた。専門の知識を持っていただくような高度な指導が出来ていないということも課題であった。

パートタイム社員の働き方を見直し、活躍を促進するうえで、従来の社内の人員体制について、見直しを行う時期であることを痛感していた。会社をさらに発展させていくうえでは、パートタイム社員の活躍に頼る体制ではなく、正社員の雇用が欠かせないという思いを強く抱いていたとき、「ジョブ・カード制度」の存在を知った。

### ■取組内容・効果:

制度を通じて3名の訓練生を受け入れた。「ジョブ・カード制度」は、OJTとOFF-JTを組み合わせた実習型訓練を実施し、正社員を雇用することで人件費の助成を受けることができる。これまでに雇用した社員の中には、十分な研修を実施することができず、それが理由で離職してしまった方もいたので、この制度は大変有益であった。

訓練の講師は、私とそれぞれの業務を担当する先輩社員で実施。「教え方」というのは人によって様々であるが、会社の発展のために、いかに社員が一丸となって取り組めるのか、という点を重視していた私は、社員に対し、可能な限り、統一した社内でのルール・価値観、物事の考え方を伝えたいという思いから、デスク業務の講習については一手に引き受け、研修を実施した。OFF-JTは、担当職種に合わせて、先輩と一緒に一連の流れを見ながら習得を図った。人材の育成は、教える側にも大きな進歩をもたらす。訓練生が前向きに成長する姿は社内の空気を変え、他の社員に初心を思い出させるような良い契機となったと感じている。



### 中小企業の実践ポイント

- ▶ 正社員を雇用する手段として、人件費の補助や研修時間の充実を図ることができる「ジョブ・カード制度」を活用
- ▶ 優秀な人材の確保に向け、パートタイム社員の正社員化にも前向きに取り組んでいく

### ■今後の展望と課題:

今後は、パートタイム社員をいかに正社員化するかということが課題。社員全員が一丸となり、互いのためにどれだけ尽力できるのか、会社の発展のためにいかに貢献できるのか、を考えていくためには、社内体制を整え、これまでパートタイムで働いていた方々にも正社員として意欲を持って活躍いただくことが必要と考えている。

日本商工会議所「ジョブ・カードセンター」<http://www.jc-center.jp/>

厚生労働省「ジョブ・カード制度」[http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/job\\_card01/](http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/job_card01/)



### 【企業データ】

代表者	代表取締役 石丸 一臣	会社設立年	昭和56年	従業員数	22人
本社所在地	愛媛県松山市土居田町335-1				
事業内容	飲食店やホテルへの業務用資材の卸業、ギフトの店舗販売・卸業				